

令和7年度病害虫発生予察注意報第5号

令和7年9月30日
鳥取県病害虫防除所

注意報の概要

県中西部のブロッコリーほ場において、黒斑細菌病の発生量が増加している。今後の気象条件によっては、急激に発病が増加する恐れがあるため、防除の徹底が必要である。

病害虫名：ブロッコリー黒斑細菌病

- | | |
|--------|--------|
| 1 対象作物 | ブロッコリー |
| 2 発生地域 | 県中西部 |
| 3 発生時期 | 平年並 |
| 4 発生量 | 多い |

5 注意報発令の根拠

- (1) 県中西部（現地ブロッコリー調査ほ場）における9月26日現在の県中西部の平均発生ほ場率は56.5%、平均発病度は21.1と高い（表1）。
- (2) 向こう1か月の気象予報（9月25日付）では、本病にやや好適な条件であり、引き続き発病の増加が見込まれる。

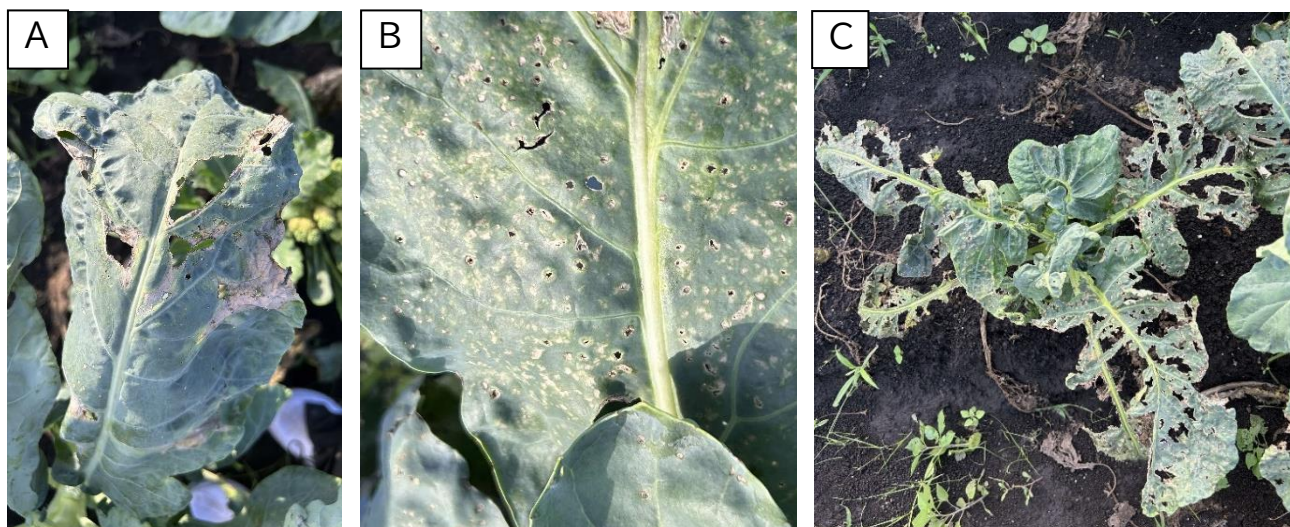


図1 黒斑細菌病が発生した株（A：葉の破れ、B：初期～中期病斑、C：下葉の脱落、枯死）

6 防除上注意すべき事項

- (1) 本病は降雨が多く、温暖で多湿の天候が続くときに発病しやすい。台風などの強風や大雨の後には多発することが多い。排水不良や水のたまりやすい場所で発生しやすいので、排水対策を実施する。また、害虫の食害痕からの侵入を防ぐため、害虫防除も徹底する。
- (2) 発病後の防除効果は低いため、予防的な防除を徹底する。
- (3) 残渣中で病原菌が生存、越冬するため、黒斑細菌病が多発した場合は、アブラナ科野菜の連作を避ける。

(4) 登録薬剤は、表2に示すとおり。

表1 県ブロッコリーほ場¹⁾における黒斑細菌病の発生状況(9月26日調査)

地 点	調査ほ場数	発生ほ場数	発生ほ場率(%)	発病度 ²⁾
倉吉市	6	5	83.3	47.0
北栄町	4	4	100	44.0
琴浦町	5	0	0	0
県中部小計	15	9	60.0	30.5
県西部小計	8	4	50.0	3.5
全体合計	23	13	56.5	21.1

1) 調査対象は、10月～11月上旬収穫作型(生育後期)の秋冬ブロッコリー。

2) 発病度 = $\{\sum(\text{指数}) \times \text{発病程度別株数}\} / (4 \times \text{調査株数}) \times 100$

表2 ブロッコリー黒斑細菌病の主な防除薬剤(令和7年9月29日現在の農薬登録内容)

薬剤名	希釈倍率	使用時期	本剤の使用回数	成分(FRACコード)
Zボルダー	500	-	-	塩基性硫酸銅(F:M01)
クプロシールド	1,000～2,000	発病前～発病初期	-	塩基性硫酸銅(F:M01)
キノンドー水和剤 40	800	収穫14日前	3回	有機銅(F:M01)
スターナ水和剤	2,000	収穫14日前	2回	オキシリニック酸(F:31)
マスタピース水和剤	1,000～2,000	収穫前日	-	生物農薬(F:BM2)

(お問い合わせ)

鳥取県病虫害防除所

(鳥取県園芸試験場内、電話：0858-37-4211)

この情報は、鳥取県病虫害防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、<https://www.pref.tottori.lg.jp/boujosyo/> です。



病虫害防除所ホームページ2次元コード